

# きずな

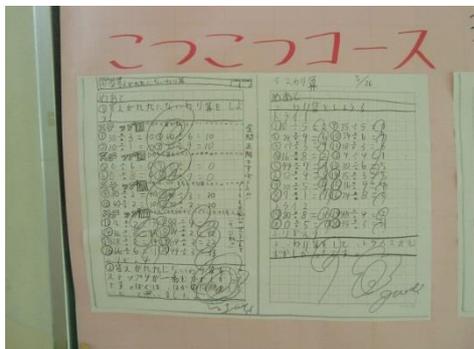
北九州市立折尾西小学校

学校だより 7月号

平成30年7月2日(月)

校長 成重純一

## 家庭学習の意義



<写真1>こつこつコース



<写真2>ひらめきコース

上の二つの写真は、校内に掲示されている家庭学習ノートです。写真1の「こつこつコース」とは、基礎的・基本的な漢字や計算の練習を行う家庭学習のことです。一方、写真2の「ひらめきコース」とは、自分が関心をもった課題を選んで取り組む家庭学習のことです。

家庭学習は、「学校で学んだことの定着を図ること」と「家庭での学習習慣を身に付けること」をねらいとして行うものですが、もっと広い背景には、「学びは、学校に籍を置いている期間だけ行うものではなく、一生続くものである。」という考えがあります。そのため、「ひらめきコース」のような学習も奨励しています。

私たちの頭の中には、毎日、小さな疑問が浮かんで消えています。その中で消えずに解決を求めると残ったものが「問い」と呼ばれるものです。問いを発見し、自ら解決しようとするのも、いわゆる読み・書き・計算と同様に大切にしたいと考えています。子どもたちにとって夏休みが、「問いの発見と解決」を体験できる期間になるとよいですね。

## ため池は恐ろしい

写真は、2年前に宮城県のため池に親子3人が水死した事故の後の検証の様子です。検証した結果、ため池の護岸ののり面が、苔や泥で滑りやすく、大人でも自力で陸に上がることが困難だったことが分かったそうです。

一般に、ため池はすり鉢状の構造であり、斜面の表面も凹凸がないつくりなので、一度落ちると簡単には上がれないといえます。学校でも指導しますが、絶対に入らないようにお子さんに注意を呼びかけてください。

